



(2020/08/13)

## 1 公募研究班について

2020年度から本領域に参加する公募研究班として、下記の研究課題が採択されました。各課題の研究内容の詳細は、近日中にウェブページ (<https://www.commu-ai.org/organization/index.html>) に掲載いたします。

### A01 対話継続関係維持研究グループ

- ユーザへの重み感覚提示による対話継続手法の開発と検証(田中文英/筑波大学)
- 看護師の行動を規範とした高齢者向けアテンション維持ロボットの開発(野口博史/大阪市立大学)
- ターンテイキングの起源:発達認知神経科学的研究(開一夫/東京大学)
- 楽しい雑談対話の要因解明のためのリアルなCGとのマルチモーダル対話システム構築(北岡教英/豊橋技術科学大学)
- ユーザに行動変容を促すマルチモーダル対話ロボットの研究(吉野幸一郎/奈良先端科学技術大学院大学)
- 快情動を誘発する身体的引き込み対話エージェント(渡邊富夫/岡山県立大学)
- ベッドサイド見守り声掛けロボットのための対話システムの開発(大武美保子/理化学研究所)
- 精神科外来のための対人恐怖症患者への診察支援ロボットの開発(熊崎博一/国立精神・神経医療研究センター)
- 対話ロボットにおける「社会的表出」の基盤技術の研究開発(石井カルロス寿憲/国際電気通信基礎技術研究所)

### A02 対話理解生成研究グループ

- 実世界における知識獲得のための対話システムの構築(原田達也/東京大学)
- 接客訓練のための音声対話システム基盤技術の構築と評価(西崎博光/山梨大学)
- 部分記号接地に基づくマルチモーダル対話基盤創成(長井隆行/大阪大学)

### A03 行動決定モデル推定研究グループ

- 周囲の人たちへの配慮を伴った公共場面でのロボットの行動デザイン(竹内勇剛/静岡大学)
- 多様な個人と対話するモデルベース回想法のデザイン(森田純哉/静岡大学)
- チャンネル権と内発的動機を持つテレビ共視ロボットによる対話知能の実現(岡夏樹/京都工芸繊維大学)
- あえて非論理的な発話を行うことによる対話継続の試み(松井哲也/成蹊大学)
- ポライトネス理論に基づく親和性の高い対話システムの開発ー自然会話コーパスからー(片上大輔/東京工芸大学)

### A04 人間機械社会規範研究グループ

- 根源的規約主義に基づく新たな対話規範および社会規範の追求(小山虎/山口大学)
- AIの法的主体性(加藤隆之/東洋大学)
- 人ーロボット共生社会に向けたジェンダー・ロボット社会倫理学の創造(野村竜也/龍谷大学)



## 2 イベント報告: 「対話知能学」2020 年度領域全体会議 1

2020 年 6 月 19 日(金)に「対話知能学 2020 年度第 1 回 領域 全体 会議」( <https://www.commu-ai.org/activity/20200604.html>) を非公開の遠隔会議にて開催しました。

4 つの計画研究班および今年度から参加した公募研究班の研究内容や、コロナ禍を踏まえて対話知能学を社会的課題に応用する可能性や新しい社会規範を提案する可能性、といったテーマについて議論しました。

## 3 イベント報告:「第 2 回対話ロボットの社会実装と法律問題に関するワークショップ」

2020 年 5 月 1 日(金)に「第 2 回対話ロボットの社会実装と法律問題に関するワークショップ」( <https://www.commu-ai.org/activity/20200430.html>) を非公開の遠隔会議にて開催しました。

人間機械社会規範研究グループ(A04)のメンバーや石黒領域代表を中心に、約 20 名の参加者が、同グループに新しく参加した公募班の研究内容や他のメンバーとの連携、コロナ禍に直面した社会のために対話知能学ができること、といったテーマについて議論を交わしました。

## 4 イベント報告: オンラインイベント「知能ロボットと暮らす未来にはどんなルールが必要ですか?——対話知能学プロジェクト×日本科学未来館」

2020 年 7 月 24 日(金)にオンラインイベント「知能ロボットと暮らす未来にはどんなルールが必要ですか?——対話知能学プロジェクト×日本科学未来館」( <https://www.commu-ai.org/activity/20200724.html>) を開催しました。「対話知能学」からは、石黒浩領域代表と新保史生社会規範班代表が登壇しました。

イベントの様子は YouTube Live で配信され、200 人以上の方にご視聴いただきました。現在もこちらの URL

( <https://www.youtube.com/watch?v=CJ18wScMG2M&feature=youtu.be>) からご覧になれます。

ロボットの人権や、人間と技術の関係、ロボット工学と法学・倫理学の共同研究の意義、といったテーマについて、視聴者の皆さまとの間で議論を交わしました。今後もこのような企画を実施していきます。



## 5 イベント案内:「第 3 回対話ロボットの社会実装と法律問題に関するワークショップ」

2020 年 8 月 28 日(金)に「第 3 回対話ロボットの社会実装と法律問題に関するワークショップ: AI・ロボットと人の共生社会における対話知能学の可能性」を開催します。本イベントは公開です。詳細はこちらのウェブページ( <https://www.commu-ai.org/activity/20200828.html>) からご覧ください。

## 6 2020 年度公開シンポジウムについて

2020 年 10 月 23 日(金)に「対話知能学 2020 年度公開シンポジウム」を開催する予定です。詳細は、決まり次第、領域ウェブサイト( <https://www.commu-ai.org/activity/index.html>) や Facebook ページ( <https://www.facebook.com/commuai/>) にてお知らせします。